

二月一日

八時過起床。ひろしまハウス連作銅版画製作の考えが浮かんだが難しいかも知れない。ひろしまハウスは物体としてすでに存在しているから、その現実からそれ程には自由になれない。レンガ積みの素材であるカンボジアのレンガを一つ買ってもらうためのその絵を描いてみるか。これも不自由だな。木本君からしばらく返信が無いが、ちよつとスケッチ送り過ぎて、混乱させてしまつたかなと思う。過ぎたるは及ばざるが如し。ときの忘れモノの綿貫さんや塩野君達は今、北海道十勝へレンケラー塔、スノーボートへのツアーの最中だ。早く銅版届かないかなあ。彫りたいのが少々たまった。十一時製図室、四年卒計採点。見るべきモノなし。特に計画系の作品が良くない。気分としては六年制に移行し、三年の設計製図に精力を集中してしまつているから目標が失くなつているのだろう。自分で自分を開発開拓してゆく力が見られない。これで修士設計に見るべきものが出現しないと困つた事になるね。気が重い。十三時半修了。

午後研究室でゲデゲデと過ごす。農村計画のおしゃべり、スタツフの役に立つかどうかは知らぬが、やむにやまれずに話している。十七時前研究室発帝国ホテルへ。六時前帝国ホテル。海の世界は私には解りようのない世界だが、家族の一員が解る世界にニヨロニヨロして、いらつくよりはよい。日生劇場の前を通つてきたが、日比谷公園よりの一階の列柱の一本に今井兼次が良く使つていた装飾パターンが彫り込まれているのに気付いた。村野藤吾

は何か縁起でもかついだのだろうか。あるいは日本生命がクライアントとして要求したのだろうか。妙に気になった。村野藤吾の実際家としての側面を強く感じた。世界中のホテルを泊り歩いてみると、帝国ホテルは大きなビジネスホテルの感があるね。人々の動きもせわしい。今ならホテルの設計は上手にできるような気がするが、誰か頼まないかね。十八時半石原慎太郎主催の祝賀会。君が代斉唱、皇居遙拝と続く。ここまでやると仲々で会場には笑いが生まれていた。石原慎太郎都知事は急用の為欠席。あいさつの中に石原裕次郎の話が出て、この会がどうやら裕次郎の持つていたフイーリングが反映されているのを知る。二十一時前散会。十七階Barで並木氏等と歓談。二十二時半帝国ホテル発。二十三時半世田谷村着。